

平成30年3月8日

宇部市長 様

宇部市地域創生事業助成金実績報告書

団体名 万倉校区コミュニティ推進協議会

代表者氏名 矢原 久登



平成29年6月30日付け宇市活第155号に係る事業が次のとおり完了したので報告します。

事業名	万倉を創る眠れる若者発掘事業
事業の完了年月日	平成30年2月28日
事業の総括について	<p>万倉校区の重点課題として、次代を担う人材を集める仕組み作りが挙げられており、まずどれだけの人材がいるのかを知るための場づくり、若者が地域の方と顔の見える関係づくりをしていくきっかけを作ることを目的に事業を行った。</p> <p>ワークショップや万倉小フェスタでは、児童や生徒・保護者・地域の方の参加も多く、顔見知りとなる良い機会となった。</p> <p>講演会では、若者と地域の方が一緒に、これから地域づくりを実践していく上で何を考え、行動していけば良いのかを学ぶことができた。参加者からは、参加して良かったという声も多く聞かれ、とても好評であった。</p> <p>地域の方との交流の場を作ることで、顔見知りとなる関係づくりは行いやすかった。また、講演会に参加した若者の地域に対する意識の変化も見られ、このような事業が若者の意識改革に効果があるということも分かった。</p> <p>今回の事業を通して、地域の活動にいつも積極的な若者の参加は見られるが、これからは、そうではない若者の心をどう動かし、地域の活動へ足を運んでもらえるのかという視点も含めて事業を展開していくことが必要であり、今後の課題である。</p>

事業の達成度について  
(参加人数等)

1) ワークショップ

日 時：平成 29 年 8 月 27 日 (日) 9:30～15:00

場 所：万倉ふれあいセンター

参加人数：児童・生徒 21 人、保護者 14 人

地域 20 人 (合計：55 人)

内 容：ガンブラ・ヒンメリ・かかし作り、BBQ

親子での参加も予想より多くあり、物づくりを通して若者同士の交流を図ることができた。また、地域の方の参加も多数あり、若者の顔を知ってもらえる良い場となった。

2) 万倉小フェスタ

日 時：平成 29 年 11 月 12 日 (日) 9:00～15:30

場 所：宇部市立 万倉小学校

内 容：<午前> 万倉小ステージ

<午後> 弁当・パン販売

フリーマーケット

(大人ブース、こどもブース)

出店 (ハンドメイド)

吹奏楽器の体験 など

対 象：北部 6 校区に在住の方

※チラシを作成し、配布した

参 加 費：無料

北部 6 校区にチラシを配布し、事業の広報を行った。当日は、若者が中心となって実施した弁当やパンの販売、フリマ等を通して、若者の顔を地域の方に知ってもらう良い機会となり、また地域の方との交流の場の 1 つとなった。また他校区からの参加もあり大盛況に終わった。

3) 講演会

日 時：平成 29 年 12 月 3 日 (日) 14:00～15:30

場 所：万倉ふれあいセンター 多目的室

参加人数：43 人

(万倉 34 人、船木 4 人、その他 5 人)

講 師：泉谷 勝敏 氏

(周防大島町定住促進協議会ふるさとライフプロデューサー)

内 容：「地域づくりを考える

～周防大島の事例を基に～」

地域の方と若者が一緒に地域づくりを学ぶ機会となり、今後の地域づくりを行う上で、どう考えていかなければいけないかを数多く学ぶことができた。参加者の多くの方が、地域づくりへの意識が前向きになったという感想も聞かれ、講演会は今後につながる意味

	<p>のあるものであった。</p> <p>4) アンケート（意識調査）実施  実施期間：開始前 H29年8月1日～8月16日  終了後 H30年1月1日～1月26日  対象者：万倉校区在住の方</p> <p>※1)～4)の詳細については別紙参照</p>
<p>助成事業等の効果について  (期待した効果は得られたか)</p>	<p>今回の事業の目的は、①若者の顔を地域の方に知ってもらい②若者の地域に対する意識改革であった。事業を通して若者と地域の方が顔を合わせて会話ができる機会が増えたことで、より若者の顔を地域の方に知ってもらえた。また若者の地域に対する意識についても、特に講演会に参加していた方は、講演前後で気持ちに変化があり、地域づくりに対する意識が前向き（向上）になったと回答していることから期待していた効果が得られた。</p>
<p>評価や反省を踏まえた今後の展望</p>	<p>若者と地域の方との交流の場を増やすことで顔見知りとなる機会ができたが、全体的に若者でも女性の参加が多く、男性の参加が少ないのが現状。今後、地域活性化を図っていく上では、若者男性の存在は必要不可欠である。そのためには、若者男性を意識した参加しやすい事業、又は若者男性を対象とした事業などを行い、地域に巻き込こんでいくような取り組みを考えていくことも必要である。また、今回の事業を行うに当たり、若者に向けた広報が十分に行えていなかったため、事業の趣旨の理解が得られず、参加人数にも影響を与えたのではないかと考える。</p> <p>若者の地域に対する意識改革については、講演会に参加された若者は、地域に対する意識に変化が見られている。今後も若者に対して地域づくりを考えるような事業を継続して実施することで、すぐに結果を出すのは難しいと思われるが、若者の意識改革は可能であると考え。また地域づくりに対する意識が向上した若者がタイムリーに活躍できるような事業（今回で言えば、講演会後に何か若者ができる事業）を実施すること（成功体験）ができれば、向上した地域に対する意識を低下させることなく、今後の地域を活性化させる一助と成り得るのではないかと考える。</p>

添付書類

助成事業決算書  
帳簿（写）

その他事業の執行に必要な書類（写真等）

ワークショップ (8月27日) 場所: 万倉ふれあいセンター



<ガンプラ作り>



<ヒンメリ作り>



ヒンメリ



<かかし作り>



<BBQ>

万倉小フェスタ (11月12日) 場所: 万倉小学校

<万倉小ステージ>



<小野田吹奏楽団の皆さんによる吹奏楽器体験>



<子どもフリーマーケット>



<大人フリーマーケット>



<ハンドメイド>



講演会（12月3日） 場所：万倉ふれあいセンター

